

|           |       |
|-----------|-------|
| 地域産業委員会   |       |
| 令和5年5月26日 |       |
| 産業経済部     | 資料4番  |
| 所管        | 産業振興課 |

## 副業人材を活用した商業振興施策について

区内商店会の課題解決を一層推進するため、昨年度に引き続き、専門性の高い副業人材を活用し、商店街ステップアップ応援事業（旧 商店街組織力強化事業）及び若手商人ネットワーク事業を実施する。令和4年度の成果及び令和5年度の取組内容は以下のとおり。

### 1 目的

商店街運営の基盤強化や担い手育成に繋がる取り組みを通じ、「持続可能な商店街モデル」の構築を目指す。

### 2 経緯

- (1) 人材不足や高齢化といった顕在的課題に加え、コロナ禍を経て、アナログ及び属人的な商店会運営の見直しを新たな課題と捉えた。
- (2) 令和2年度、商店街組織力強化事業において、専門性を有した副業者を活用し、区内商店会の運営実態の調査、分析を行った。
- (3) 令和3年度以降、“デジタル等を活用した商店会運営の効率化”を解決策の一つと捉え、これらの専門性を有した副業者を試行的に活用し、業務効率化に資するモデル構築に取り組んでいる。

### 3 令和4年度の成果及び令和5年度の取り組み

委託先である大田区商店街連合会と、パーソルイノベーション株式会社が運営する副業人材マッチングサービス『lotsful』（ロッツフル、港区）が連携し、次の2事業を実施した。

#### (1) 商店街組織力強化事業における広報強化モデル構築事業

##### ア 目的

商店会の広報活動は、集客や認知向上に欠かせない業務である一方、人手や時間が限られる中で本来実施すべき業務に手が届いていない状況も見受けられる。デジタルメディアを活用することで、効果的・効率的な広報が行える。

##### イ 令和4年度の成果

業務効率化の一つとして、広報強化モデルを構築した。広報戦略に長けた副業者が、大森柳本通り商店街振興組合において、イベントの広報に当たり、SNSの開設やメディアへのプレスリリースのノウハウについて伴走支援を行った。

ウ 令和5年度の取り組み

(ア) 令和4年度に構築したイベント型広報強化モデルの区内商店会への横展開を図っていく。

(イ) 商店会ニーズに応じた広報強化を行うため、取り組み内容のメニュー化を実施する。イベントに特化した広報だけでなく、会員個店等のPRといった既存コンテンツの魅力発信強化をテーマに新たなモデルを構築する。

(2) 若手商人ネットワーク事業における新商品（新サービス）開発事業

ア 目的

持続可能な商店街を目指すためには、後継者の育成は重要な課題である。当事業では、若手が課題を解決する力や、事業運営のスキルを身につけ、将来的に商店会を担う人材育成を支援していく。

イ 令和4年度の成果

育成塾受講者（計13名）が3つのテーマ（クリスマス、お歳暮、健康）毎に、新商品（新サービス）の開発に取り組んだ。マーケティング等の専門知識を有する副業者が、ターゲット分析、商品コンセプトの設定及びプロモーション等、実践的なノウハウ習得について伴走支援した。

新商品（新サービス）の中には完売するものもあり、大きな反響も得られた。

ウ 令和5年度の取り組み

育成塾受講者に対し、SNSの活用スキル向上を支援する。受講者を2グループに分け、ノウハウを有した副業者が伴走支援を実施する。6月中旬より、大田区商店街連合会を通じ副業者と受講者のマッチングを行い、7月から9月（予定）の3か月間、支援を実施する。

4 事業スキーム

（大田区商店街連合会委託事業、副業人材マッチング事業者との連携）

